

平成30年3月14日

各位

会社名 株式会社 イー・カムトゥルー
(コード番号 3693 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 上田 正巳
問合せ先 管理部開示担当 若山 尚文
TEL 011-271-4761
URL <http://www.e-cometrue.com>

資金の借入及び借入金の返済に関するお知らせ

当社は、平成30年3月14日開催の取締役会において、株式会社北洋銀行より資金の借入及び既存借入金の返済に関し、下記のとおり決議致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 本資金調達目的

平成30年2月28日に「資本性劣後特約付きローンを含めた資金調達のお知らせ」で開示したように、同日開催の取締役会において有利子負債の弁済を目的として、株式会社日本政策金融公庫から資本性劣後特約付きローンで40百万円、一般事業性資金で40百万円の合計80百万円の資金調達を行い、既存の借入を弁済することを決議し、借入及び弁済を行いました。

そうしたなかで、平成30年1月以降受けていた株式会社北洋銀行からのプロポーザルを受け入れ、平成30年3月14日開催の取締役会において、株式会社北洋銀行から、平成20年12月を起点とした既存借入金の返済リスクスケジュールの正常化を図る事を目的として、40百万円の資金調達をすることを決議しました。

その結果、株式会社北洋銀行から40百万円の資金調達を実施する代わりに、平成30年2月28日に株式会社日本政策金融公庫から調達した一般事業性資金40百万円の返済を行うことと致しました。

2. 当社の金融機関からの借入がリスクスケジュールとなった経緯及び本資金調達がもたらす効果

当社は、現代表取締役である上田正巳が、ビジネス用アプリケーションをASP方式で中小企業向けに提供するビジネスモデルとして2005年に設立しました。

このモデルは、発足当時、中小企業の業務効率化のため、低廉な経費で会計の自動化や業務の効率化に大きく寄与するものとして高い評価を受けたことから、複数のメガバンク系ベンチャーキャピタル等からの出資を受け、資本金も100百万円を超える水準となり、一時は上場を視野に入れる状況となりました。しかしながらその後、子会社イーカム・ワークス株式会社の設立を起点とした性急な業容拡大により、東京方

面への販路拡大やソフト開発の請負を始めとした、間口拡大によるコストの大幅な増加や、多額の出資、貸倒損失の発生等により、当社の財務体質に一気に深刻な影響を招く状況に至ったものです。

以上の経緯から平成20年12月に「北海道中小企業再生支援協議会」に相談申込を行い、平成21年3月の債権者会議において借入先全7行との同意を得ることによって返済のリスケジュールをスタート致しました。以後、平成23年11月開催の債権者会議を最後に、平成24年12月より当社単独で各行とのリスケジュール協議を行い、各行との変更契約を毎年継続してきました。また、条件変更を行っている経緯から、これまでの約10年にわたり金融機関からの新たな資金調達が無可能な状況が続いていました。

今回、長年当社の業況及び財務状況の推移を見てきた株式会社北洋銀行のプロポーザルにより、株式会社日本政策金融公庫の資本性劣後特約付きローン及び株式会社北洋銀行からの借入金調達により既存借入金を弁済することで、今後金融機関からの弾力的な資金調達が可能となることから、近い将来の私募債の発行に関しても協議を開始致しております。

3. 資金の借入

① 資金用途	有利子負債の弁済
② 借入先の名称	株式会社北洋銀行
③ 借入金額	40百万円
④ 借入条件	基準金利＋スプレッド
⑤ 実施時期	平成30年3月14日
⑥ 借入期間	5年
⑦ 担保提供資産または保証内容	無担保・代表取締役による被保証

4. 資金の返済

① 借入日	平成30年2月28日
② 借入先の名称	株式会社日本政策金融公庫（国民生活事業）
③ 借入金額	40百万円
④ 借入条件	年1.81%
⑤ 実施時期	平成30年3月14日
⑥ 返済期限	平成30年9月5日
⑦ 担保提供資産または保証内容	無担保・代表取締役による被保証



5. 業績に与える影響

本件借入及び借入金の返済による平成 30 年 12 月期の業績に与える影響は軽微であります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社イー・カムトゥルー 管理部・窓口担当 若山
E-mail:wakayama@e-cometrue.com